

RTS-0004  
RTS-0021

# エレカット補足説明書

---

## ペンダントスイッチ



ご使用になるお客様に必ずお渡しください。  
ご使用になるお客様は必ずお読みください。

## 安全に関する注意

ペンダントスイッチに添付してある取扱説明書およびエレカットの取扱説明書をあらかじめ読んで理解してください。

- \* 1 本説明書は、ペンダントスイッチに押釦電流センサー(型式SBIU - HK )の取付け交換作業について説明したものです。
- \* 2 ペンダントスイッチは新晃電機(株)製で、ケースの材質が樹脂製とします。
- \* 3 ペンダントスイッチとエレカット本体間はケーブルで配線し、その長さは、30m以内にしてください。
- \* 4 上記ケーブルは、動力線からできるだけ離してください。

(A) 電源の”切”, ”入”付のペンダントスイッチで、接点部ユニットに保持型ユニットが、取り付いている場合

ここでは、型式 SBI - 8 - WH を例に説明します。

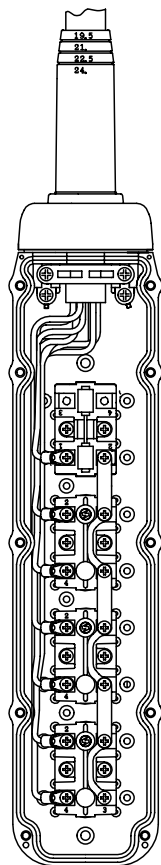


図1. 交換前

SBPU - H2は  
SBIU - HK  
に交換

追加線1

追加線2

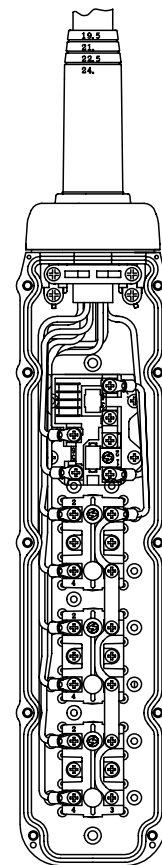


図2. 交換後

### 交換方法

- (1) うらぶたを外します。
- (2) 端子カバーを外します。
- (3) 接点部ユニット S B P U - H 2 を外します。
- (4) 押釦電流センサー S B I U - H K を組み付けます。
- (5) 各ユニットに配線をします。
- (6) 端子カバーを装着します。
- (7) うらぶたを閉めます。
- (8) S B I U - H K 0 , S B I U - H K 2 は、特定電気用品表示ラベル(ユニットの付属品)をうらぶたに貼りつけてください。

### 交換上の注意

- (1) 押釦電流センサー S B I U - H K を組み付けると、新たに配線の線数が2本必要となります。  
未使用線がない場合、ケーブルの交換が必要です。
- (2) 押釦電流センサーの一次側には、対象の電磁接触器等の励磁電流が流れるように配線してください。励磁電流は検出範囲内のこと。
- (3) 押釦電流センサーの二次側は、エレカット本体に配線してください。  
詳細は、それぞれのエレカットの取扱説明書を参照してください。

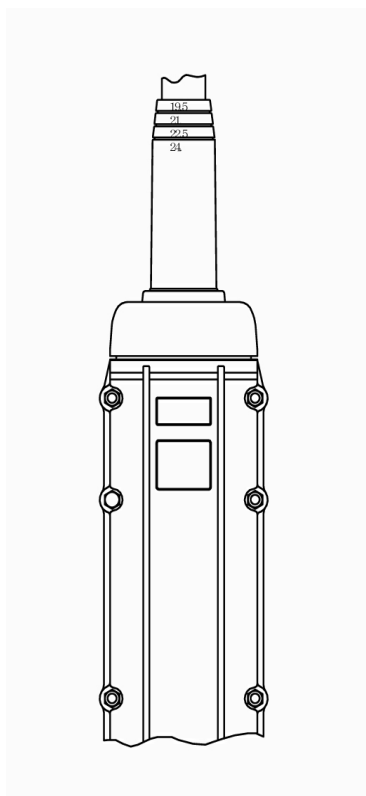


図3．ラベルの貼付

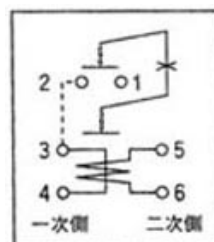
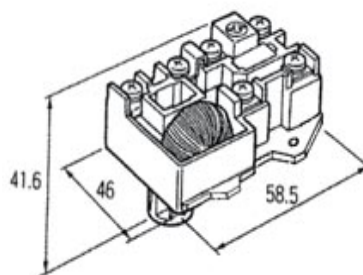


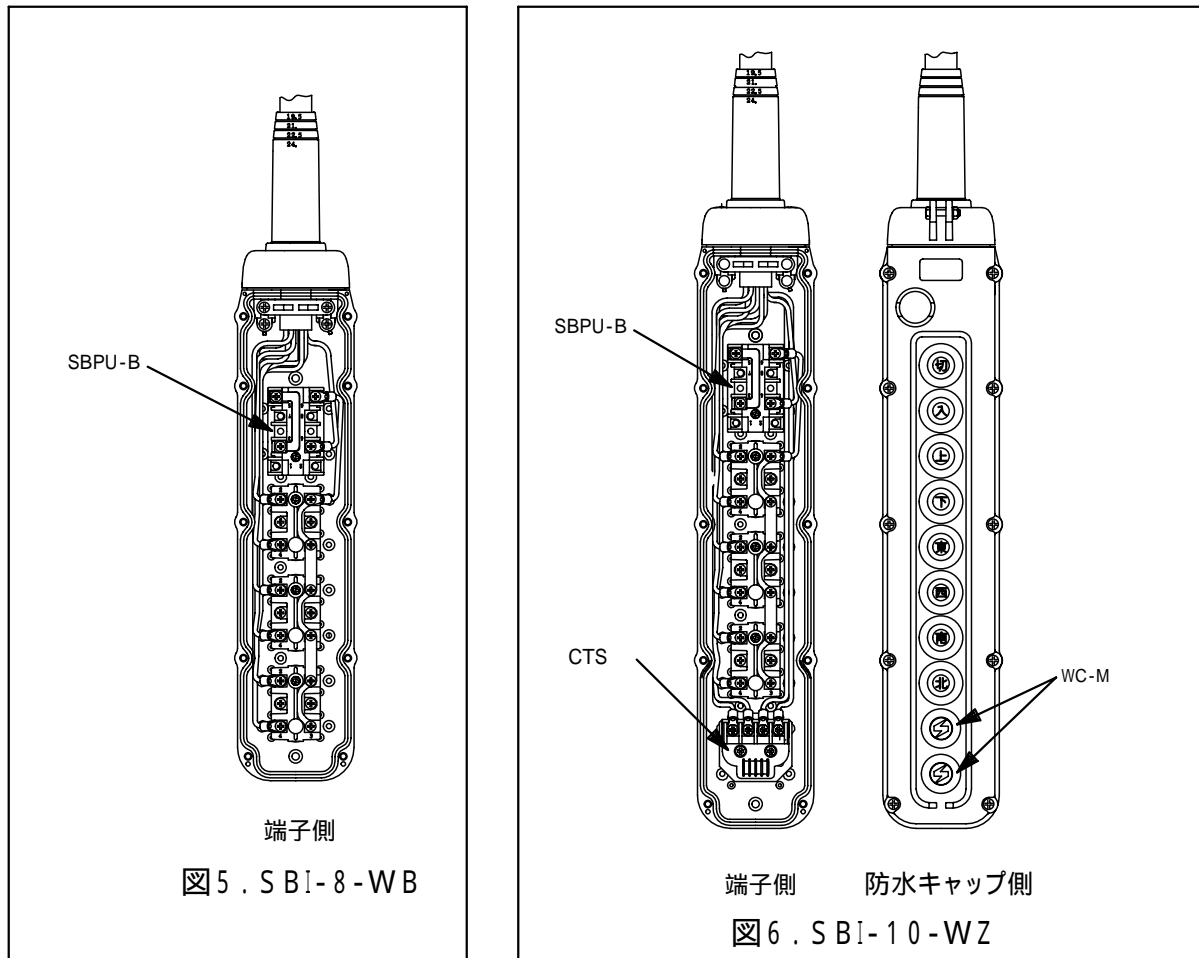
図4．押釦電流センサー

(B) 前述(A)以外のペンダントスイッチの場合

次のようなペンダントスイッチの場合には、押釦電流センサー付の新たなペンダントスイッチを購入してください。

- (1) 電源の”切”,”入”のないペンダントスイッチ
- (2) 電源の”切”,”入”のスイッチユニットがSBPU - Bの場合

例: 現在ご使用のペンダントスイッチが、図5(SBI - 8 - WB)の場合には、新規購入のペンダントスイッチは、図6(SBP - 10 - WZ)になります。



注) 押釦電流センサーとしては、SBIU - HK とCTS の2種類がありますが、この場合にはCTS が取り付くことになります。

SBPU - Bの取り付けしているところに、SBIU - HK は取り付けられません。

この場合、(A)の場合と同じように、新たに配線の線数は2本以上必要になります。

その他

本説明書以外のペンダントスイッチについても同様の方法で、交換してください。また、不明点は、ペンダントスイッチ内部の製造番号を確認の上、当社までお問い合わせください。

これ以外の押釦スイッチの取り扱いについては、附属の取扱説明書を参照してください。

本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。